



2019年5月5日 (第190号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.jp
広報: tk-koho@mx1.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

ミサ・テレサの言葉
私たちが告げ知らせられている神様は、生ける神、愛の神さまで。
言葉は心からあふれ出るもの、それは、貧しい人々に、神さまの喜びを伝える者でなければなりません。

津和野の殉教者 列聖調査始まる

【趣旨】
長崎における信徒発見(1865年)後に、「浦上四番崩れ」(1867年)と呼ばれるキリスト教への弾圧が起こりました。江戸幕府によっておこなわれた迫害は明治政府に引き継がれ、約3300名の浦上の信徒たちが捕縛されて、明治初期に西日本の20藩(22カ所)に流配されました。
そして、キリシタン禁令の高札が廃止(1873年)されて、浦上に帰還するまでの間に、信仰を証しているのちをささげた方々がいきました。日本の社会に信教の自由をもたらす「一粒の麦」となったこれらの証し人たちを教会の公的な記念としたいという多くの声が寄せられてきました。
これらの方々の生き方を顕彰し、信教の自由の精神を近隣諸国に広げていくため、キリシタン禁令の高札が廃止(1873年)されて150年目となる2023年は一つの節目になります。

【列聖調査開始】
広島司教区は、日本司教協議会の同意と教皇庁列聖省の承認(2019年2月5日)を受けて、この4月には「津和野の証し人列聖調査委員会」を発足させ、流配された浦上の信徒たちの代表(象徴)として、まず津和野の証し人37名の列福(列聖に向かう第一段階)のための公式な調査を開始する運びになりました。下記の通り、来たる5月3日(金)に開催される津和野の「乙女峠まつり」の中で、前田万葉枢機卿司式によって「列聖調査開始宣言ミサ」をささげます。



乙女峠祭りのミサに大勢の信徒が与る

【ご支援のお願い】
津和野の証し人の公式な調査のために有用と思われる資料(関係する書簡類、日記、メモ、書籍等)をお持ちの方は、広島教区事務局(TEL 082・221・6017)までご連絡いただけますと幸いです。また、この列聖調査を推進していくため、広島教区は「明治初期・津和野の証し人 列聖推進協議会」を立ち上げて加入者(法人会員・個人会員)を募り、祈りや献金(1年に1度)等による組織的なご支援をお願いしています。

この推進協議会への加入をご希望の方も、広島教区事務局へお問い合わせください。案内の資料をお送りします。そして、随時に自由な形でのご支援をお願いするために、後日、パンフレットを作成して、今後の列福・列聖に向けた調査のための募金を呼びかけたいと思います。このパンフレットの郵送をご希望の方も広島教区事務局へ、ご一報ください。
今後とも、この列聖運動のために、皆様のお祈りとご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

(カトリック広島教区列聖委員会委員長 白浜満司教)

復活おめでとう！

高松教区司教 諏訪榮治郎

年ごとに巡りくる主の復活祭は、私たちの信仰を成長させる糧となります。18歳のわたしが「神学校」の門をくぐったのは復活祭の日でした。

新しい生命注がれた教会

その日のミサの中で「復活されたイエス様は写真に写りますか?」という問いかけが突然ありました。私たちがその当時どう答えてよいか戸惑いました。

折、同じ質問をしてみました。信徒の方々の答えは「はい」と「写ります!」でした。わたしがは正直その答えを聴き大変うれしく思いました。

「主の復活現場を見た人はいないのです。客観的な証拠はないのです。しかしさらに共通していることは「主に出会った」という人が次から次へと出てきたことです。

パウロは主が多くなの人に「現れた」という表現を使います(1コリント15章10)。



墓は空っぽだった

「復活した」と共に「復活した」とも言いますが、しかしパウロの原文は少し違うのです。

この言葉は原文で「エゲルタイ」と書かれています。これは直訳すれば「主は復活させられた」と、文法的に言えば「受身形」なのです。主語は「父なる神」なのです。つまり主の復活とはあくまで「父なる神」のご計画であり、御子イエスを復活させられたのです。

イエス様の心に満たされていく中で、「写真を撮ります」。そこに写っているのは誰でしょうか?

歴史をわたり、場所を超え、諸文化を通して、復活させられたイエスとの出会いによって、御父は新たな「創造の愛」を与え続けておられるのです。

復活されたイエス様との出会いによって、新しい生命の息吹を注がれた教会は、復活のイエスの体となるのです。教会は「聖体」なのです。主の復活を通して、この社会が「神の国」となることを御父は計画されたのです。

御子のへりくだりの愛はまさに父なる神ご自身のものであり、その愛は永遠の愛であることの証でした。

私たちに御子との出会いをおして父の愛を注ぎたいと、御父が与えた「出会いの恵み」の計画なのです。

はじめまして

はじめまして。今年の復活祭後から、大阪教区(教区司教)より高松教区に応援司教として派遣されました。繁時(シン) シゲトキ(キ)です。担当地区は愛媛地区・南予ブロックに派遣されます。担当小教区は、八幡浜教会、宇和島教会です。

簡単な自己紹介ですが、大阪市出身で司教叙階は2007年3月の司祭生活12年目です。年齢は4月で56歳になります。一般社会では30年ほど中途半端ですが、司祭としてはまだまだ未熟なもので、教会の中にあつては、まだ若手かもしれません。今もいつも神さまにしがみついています。



未知の土地なのでよろしく

大阪教区では、堺ブロック、いすみブロックという大阪府の南地区、岸和田地区、そして、神戸地区の神戸西ブロックを担当しています。大阪教区の共同宣教司牧の教会でした。

高松教区との接点というか、四国との接点と考えます。少年時代は野球少年でしたので、その後は高校時代から、四国との接点と考えます。

復活祭、おめでとうございます。復活された主イエスの平和と慰めを、皆さんが毎日味わうことができまうように祈っています。

さて、この度カトリックアメリカのNew Mexico州のベネディクト会系の修道院(Christ in the Desert 観想修道院)に入ることになりました。謹んでご報告申し上げますと共に、この場をお借りして、長年お世話になります皆様にお別れのご挨拶を申し上げます。



ネルソン神父アメリカへ

これまでの出会いとご配慮を心から感謝します。26年前、私は高松に参りました。

を味わうことが出来ました。深堀司教様、溝部司教様、諏訪司教様のお支えとご指

本当にありがとうございました。ごさびました。ネルソン・ウィリアムス

すと、学生時代に小豆島と松山の道後温泉(旅行)に行つた思い出があります。それ以外の他県には行ったことありません。

愛媛南予へ申神父

ですから今回司教担当させていただきます。愛媛県の八幡浜、宇和島小教区について、まったくの未知数なので、まずは少しずつ土地勘から覚えていくことかと考えています。

ただ宇和島という、高校野球の全国甲子園大会で復活だということ、その復活信仰を今の時代に福音として味わうことを忘れず、他者(隣人)との関係において福音を伝えることだと「初心を忘れず」に神さまの導きのうちに歩んでいきたいと願っています。

大阪府の神父ですが、どうかよろしくお願ひいたします。簡単ですが、たと記憶しています。

愛媛地区・南予ブロック 担当司教 申 繁時

長年お世話になりました

以来、たくさんの方々と出会いました。そのような出会いの中で、神様と高松教区に仕える恵みと喜びが、司祭として、また、人間として成長することができました。頂いた全てに感謝します。

日本の歴史が明治への転換期にあつた時に、「浦上四番崩れ」という大変な出来事が起こります。浦上の全住民三千数百名が明治元年から二年の間に、二十の藩に配流されます。土地も家も財産も失い、家族は離散し、拷問や飢餓によって六十数名の命が失われます。さらにもっと非道な残酷は、過酷な処置に耐えかねた千余名の人たちを背信させ、自己の良心を泥まみれにさせたことでした。明治六年にキリシタン禁制は解かれ、彼らに帰郷しますが、後にそのほとんどが立ち返ります。最後まで転げずに浦上に帰れたのは千九百名と記されています。(「浦上四番崩れ」片岡弥吉著)
この原因は信仰の自由を基本的な権利として認め近代的思想が、政府に理解されていなかったことと、政府が神道を立国の基本としており、他宗弾圧が当然のこととして行われたことです。また徳川幕府によって二百五十年の間、徹底的に浸透させられたキリシタン邪教観がその根底にあつたことは否まれません。浦上のキリシタンたちは国家権力のいかなる拷問にも過酷な弾圧にも忍耐強く抵抗して、信仰の自由を勝ち取った人々だと言えるでしょう。彼らのもつべきな信仰と厳しく純粋な精神を私たちは学び、現在のこの信仰の自由が殉教者のその血によつたものであることをたたく、感謝しなければならぬと思います。五月三日には津和野・乙女峠祭りが行われます。私たちは今の自分の信仰をもう一度問い直す必要があるのではないのでしょうか。

聖書を寸劇で披露 松山でJCCS研修会

去る2月23日と24日にクラレ・チアン宣教会の竹庭真治神父様をはじめ日本カトリックスカウト協議会の講師をお招きして、愛媛県松山市の聖カタリナ学園セミナーハウスにてJCCSカトリックスカウト指導者研修会が行われました。

この研修会が愛媛県で開催されるのは約20年ぶりで、愛媛県・香川県・大阪府のボーイスカウト・ガールスカウト指導者25名が集まりました。

この研修会では、スカウトの「ちかい」・「やくそく」・「おきて」や「教会」と「ミサ」などカトリックの教えをどのようにしてスカウトプログラムに取り入れる可能性について、実践及び講義形式で学びました。

最後に、この研修会の開催にあたりご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

2日めは前日の続きの講義を受講し、午後から諏訪司様司式のミサが行われました。このミサの最後には司教様から一人ひとりに修了証とネットワークの授与があり、25名全員が研修会のプログラムを終えることができました。

最後に、この研修会の開催にあたりご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

JCCS
高松教区支部
支部長
竹田光則



弱者を排除しない社会へ 名古屋で正平協全国大会

昨年11月23日、24日に「第40回日本カトリック正義と平和全国集会(カトリック名古屋司教区主催、日本カトリック正義と平和協議会共催)が、開催された。

大会のテーマは、「ともに生きる地球家族―いま問われる私たちの選択、私たちの決意―」で、1日目は基調講演とシンポジウムが、2日目は16の分科会が行われた。

初日のシンポジウムだけでも700人を超える参加者があった。

高松教区からも、「人権を考える委員会」のメンバーが6人参加した。それぞれが参加した分科会は、第1分科会へ移任者と日本社会やカトリック教会へ、第4分科会へ差別と向き合うハンセン病を通して、第8分科会へ排除のない社会を目指して―日韓自死・



シンポジウムの様子

別殺人事件を取り上げた。植松被告は優生思想(優秀な人が生きて、優秀でない人は価値がないという考え方)にとらわれて殺人を犯したが、彼は正しいことをしたと思っている。

植松被告は子供の頃から落ちこぼれ組であったため、弱いものを否定し誰かを攻撃することによって自己価値を肯定するようになったのではないだろうか。

最近では、ネット右翼やヘイトスピーチに見られるような外国人や障がい者に対する攻撃が増えている。

社会の流れが加害者植松的な考え方に傾きつつあるのではないかと、加害者植松のような考え方をしている人間が出て来ない社会が望まれる。

イエスの心の中には優生思想がない。私たちは他人を受け入れ自分が出来るか、素直な心を持ち

神様にゆだねる福音的価値観への転換が問われる。私たち皆が何を語り、どのように行動してゆくべきなのか福音的配慮を持ってしっかりと考えなければならぬ。皆で福音を生きようとする時、神の国が実現する。

植松被告の問題を「自分の問題」と考えることによって神の国は実現に向かうのではないかと、基調講演の後、3人の障がい者の家族や仲間達がパネラーとして分かち合った。

その内容は、障がい者一人では背負うには重すぎる。荷物はある程度背負える。弱いの人はなかなかなNOと言えないことなど、障がいを持つ1匹の羊の問題ではなく、残りの99匹の羊が自分の

問題として考えることが大切なのだ。

教会は病む人や障がいを持つ人が集まる所、障がい者が聖堂の一番前に座るのが神の望まれる教会である。

障がい者が障がいを持っていても、それが恵みだと言える教会であることが心から望まれる。自分の価値観や信仰が問われる分科会であった。

人権を考える委員会
尾崎壽一

現地を訪れ 貴重な体験 東日本被災地訪問

被災地支援にも、色々な形があります。

私たちは、昨年9月25日〜27日の二泊三日の大阪教会管区の東日本大震災応援ツアーで力リタス大船渡ベースと南三陸ベースを起点に被災地見学をして来ました。

参加者は高知2名、豊田市の聖心教会女性3名、奈良教会男性1名、大津教会男性1名の7名でした。

ベース長運転の車で、大船渡から陸前高田、気



南三陸町防災庁舎近くの鎮魂地蔵

で、今も続いている何台もの大型ショベルカーによる嵩上げ復興工事を見て、それぞれに思いを馳せました。

ベースでは、津波が人・家・物を飲み込む有様を映した各市町のDVDを視聴しました。映像からは失われた人や物、失った人々の慟哭が聞こえて来そうでした。参加者はこの映像を忘れまいと目を凝らして見、失った人々を怒りや悲しみを何処へぶつけば良いのだろう、などあふれる思いを初対面とは思えないほど率直

に出し合い、分かち合えたことは喜びでした。

メディアを通してではなく、行かなければわからない多くの事を経験できたと、私たちの宝となりました。

使徒と東日本の人々の思いを忘れず、応援し続けようと思えました。

行きはFDA航空の高知8時40分発、名古屋小牧経由、いわて花巻11時20分着の便利なルートで南国から北国へひとつ飛びました。

案内して下さった大船渡ベース長・菅原さんと南三陸ベース長・千葉さんとスタッフの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

江ノ口教会 矢野洋子
中島町教会 東 道代

東京に来て1ヶ月ほど経ちますが、高松教区がすぐに懐かしくなります。ほとんど、神学校から出ていませぬが、ちょっとでも出ると人が多いいと。疲れてしまいます。

復活祭の3回、300通料だと思っています。

関東の方では、昔、私が絵本を読み始めたなら、2・3人が立って聖堂から出て行くといった光景も見られました。でも、高松教区では一度もそんなことには出会いませんでした。暖かくこの試みを受け取ってくださいました。

この神学校の隣のイエズス会の霊性センターでは、所長も副所長も、イエズス会のものであるイグナチオの霊操のような頭を使った祈り方ではなく、体を使った、東洋的なあるいは日本的な祈り方を模索しています。

それを聞いたとき、四国に広がるお遍路文化の持つ、旅をしながら心と神と共にある姿へと移していくやり方の持つ魅力を、離れて初めて大切なものとして意識しました。

3年目は、カテドラルの耐震工事と、司祭給料のシミュレーションに関わらせていただきました。

ある程度財政の基礎が出来上がりましたので、今年には四国の文化を活かした動きを感じます。

四国の味は、私みたいな、よそ者の方が良く感じます。どうぞ、これからは四国の良さを活かした、日本でも特別な動きと霊性を養ってほしいです。

東京からお祈りしています。

東京カトリック神学院
松浦信行

新しいことを提案してもちゃんと聞き届けてくれる。だから赴任してすぐに、名簿を整え、1年のうちに被昇天、クリスマス、復活祭の3回、300通料だと思っています。

関東の方では、昔、私が絵本を読み始めたなら、2・3人が立って聖堂から出て行くといった光景も見られました。でも、高松教区では一度もそんなことには出会いませんでした。暖かくこの試みを受け取ってくださいました。

この神学校の隣のイエズス会の霊性センターでは、所長も副所長も、イエズス会のものであるイグナチオの霊操のような頭を使った祈り方ではなく、体を使った、東洋的なあるいは日本的な祈り方を模索しています。

それを聞いたとき、四国に広がるお遍路文化の持つ、旅をしながら心と神と共にある姿へと移していくやり方の持つ魅力を、離れて初めて大切なものとして意識しました。

3年目は、カテドラルの耐震工事と、司祭給料のシミュレーションに関わらせていただきました。

ある程度財政の基礎が出来上がりましたので、今年には四国の文化を活かした動きを感じます。

四国の味は、私みたいな、よそ者の方が良く感じます。どうぞ、これからは四国の良さを活かした、日本でも特別な動きと霊性を養ってほしいです。

東京からお祈りしています。

東京カトリック神学院
松浦信行

とでは「優生思想に反対して」の5つ。その中の、第11分科会の感想を紹介する。

私は第11分科会「福音を生きて」とは(優生思想を生きる)に反対して(優生思想に反対して)に参加した。基調講演で英隆一朗神父は、神奈川県の障がい者施設「津久井やまゆり園」で起きた19人の無差別

私には「優生思想に反対して」の5つ。その中の、第11分科会の感想を紹介する。

私は第11分科会「福音を生きて」とは(優生思想を生きる)に反対して(優生思想に反対して)に参加した。基調講演で英隆一朗神父は、神奈川県の障がい者施設「津久井やまゆり園」で起きた19人の無差別



派遣ミサでの青年のまとめとメッセージ発表

生きる

生きていくことは素敵だ
こんなにきれいな晴れた空が見えるもの
そしてこんなに優しい人々に会えたもの

K・I

十字架

ぼくの命 ぼくの歓喜
ぼくの憧憬 ぼくの勇氣
ぼくの偉大 ぼくの合掌

祈り

苦しむ悲しみに 耐えて生きることは
それ自体もう祈りだよ あなた自身が神への
もうそのまま祈りになっている

2018年度カトリック高松司教区現勢調査報告

2018年12月31日現在

1. 信徒数概況

	香川県	愛媛県	高知県	徳島県	合計
面積	1,876.78 Km ²	5,676.24 Km ²	7,103.63 Km ²	4,146.75 Km ²	18,803.40 Km ²
人口	961,048 人	1,349,273 人	704,546 人	735,773 人	3,750,640 人
前年度信徒数	1,506 人	1,552 人	714 人	758 人	4,530 人
信徒	1,509 人	1,512 人	674 人	757 人	4,452 人
司教・司祭	9 人	10 人	4 人	3 人	26 人
助祭	2 人	人	人	人	2 人
修道士	人	人	人	1 人	1 人
修道女	29 人	26 人	人	人	55 人
神学生	人	人	人	人	人
総数	1,549 人	1,548 人	678 人	761 人	4,536 人
前年度総数	1,547 人	1,591 人	719 人	761 人	4,618 人

2. 人員構成

司教	1 人
司祭	9 人
宣道司	7 人
ドミニコ会	6 人
オブレート会	3 人
スペイン外国宣教会	3 人
修道司祭	16 人
助祭	2 人
神学生	人
修道士	1 人
聖ドミニコ宣道修道女会	49 人
松山修道院	12 人
北条修道院	9 人
新居浜修道院	5 人
坂出修道院	17 人
小豆島修道院	6 人
聖母被昇天修道会	6 人
修道女小計	55 人
教区外司祭	12 人

3. 諸施設

(1) 教会	25 所
小教区	2 所
巡回教会	1 所
集会所	1 所
(2) 修道院	7 所
男子修道院	1 所
女子修道院	6 所
(3) 教育施設	
聖カタリナ大学	751 人
聖カタリナ大学短期大学部	192 人
愛光高等学校	717 人
聖カタリナ学園高等学校	1,396 人
愛光中学校	606 人
幼稚園 (22園)	2,543 人
(4) 医療/社会福祉施設	
坂出マルチン病院	196 床
高知聖園マリア園	*30,472人
高知聖園天使園	58 人
高知聖園ベビーホーム	33 人
特別養護老人ホーム聖マルチンの園	50 人
特別養護老人ホームマリアの園	50 人
特別養護老人ホーム白百合荘	61 人
特別養護老人ホーム聖マルチンの家	55 人
(5) 一般事業・その他	14 所

4. 教区内組織

- ・司教顧問会
- ・司祭評議会
- ・宣道司牧評議会
- ・経済問題評議会
- ・責任役員会
- ・修道女連盟会
- ・典礼委員会
- ・生涯養成委員会
- ・青少年宣道司牧委員会
- ・教会学校教師会
- ・カトリックボーイスカウト
- ・中・高生会
- ・広報委員会
- ・人権を考える委員会
- ・諸宗教対話委員会
- ・エキュメニズム委員会
- ・高松教区女性の会
- ・高松教区幼稚園連合会
- ・神学生養成委員会 (一粒会)
- ・高松サポートセンター
- ・外国人司牧・I C C

*年間延べ人数

5. 信徒数動向

教会名	信徒数				洗礼		転出入		死亡	堅信	初聖体	求道者	教会学校		ミサ参加			結婚			
	男性	女性	総数	不明	幼	成	入	出					信	未	主日	復活	降誕	①	②	③	④
桜町	306	500	806	63	3	6	4	6	7	4	0	4	10	3	100	300	200	1	0	0	0
番町	63	98	161	0	1	3	2	3	2	0	1	2	3	1	30	60	150	0	0	1	0
小豆島	24	33	57	1	0	7	0	1	8	0	0	2	0	0	20	40	57	0	0	0	0
三本松	14	18	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	30	60	0	0	0	0
坂出	63	131	194	0	6	4	4	0	3	2	3	4	11	23	60	170	250	0	0	1	0
丸亀	70	93	163	0	9	1	0	0	1	1	2	0	10	38	50	80	150	0	0	0	0
観音寺	9	17	26	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	19	25	70	0	0	0	0
善通寺	27	43	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	15	30	0	0	0	0
香川県計	576	933	1,509	64	19	21	10	10	22	7	6	12	34	65	314	720	967	1	0	2	0
松山	326	552	878	36	1	6	0	3	19	3	7	0	56	0	305	450	485	0	0	0	1
道後	57	108	165	18	0	0	0	6	2	0	0	4	3	0	60	140	247	0	0	0	0
今治	51	82	133	11	2	2	2	1	3	0	0	3	0	0	50	95	102	0	0	0	0
新居浜	60	93	153	0	1	1	0	2	3	1	1	1	12	9	50	80	105	0	0	0	0
西条	12	26	38	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	0	17	30	30	0	0	0	0
八幡浜	13	50	63	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	10	20	10	0	0	0	0
宇和島	18	43	61	0	3	2	0	1	2	2	9	1	5	0	39	98	126	0	0	0	0
伊予三島	10	11	21	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	40	45	70	0	0	0	0
愛媛県計	547	965	1,512	68	7	11	3	13	29	8	17	12	79	9	571	958	1,175	0	0	0	1
中島町	159	270	429	2	1	3	4	3	9	1	0	0	0	0	52	182	248	0	0	1	7
江の口	38	86	124	0	0	2	1	5	6	1	3	2	3	0	32	45	32	0	0	0	0
安芸	2	7	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0
赤岡	10	16	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20	20	0	0	0	0
中村	11	75	86	6	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	20	40	40	0	2	0	0
高知県計	220	454	674	8	2	5	5	9	15	2	3	3	3	0	117	290	343	0	2	1	7
徳島	174	271	445	8	4	4	4	0	7	16	3	7	12	0	92	317	385	1	0	0	0
鳴門	75	105	180	0	0	2	0	0	1	3	5	1	7	3	30	60	140	0	0	0	0
阿南	37	55	92	0	0	0	1	0	0	2	0	4	0	0	16	23	65	0	0	0	0
池田	10	30	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12	25	30	0	0	0	0
徳島県計	296	461	757	8	4	6	5	0	8	21	8	12	20	4	150	425	620	1	0	0	0
教区総計	1,639	2,813	4,452	148	32	43	23	32	74	38	34	39	136	78	1,152	2,393	3,105	2	2	3	8
前年度	1,663	2,867	4,530	176	38	42	39	31	62	46	32	53	155	62	1,208	2,380	3,193	2	2	5	5

【結婚】 ①=カトリック同士 ②=カトリックと他のキリスト教 ③=カトリックと他の宗教 ④=非カトリック同士

6月完成をめざし着々と進む 桜町司教座聖堂の耐震防水化工事

- 耐震防水工事箇所
- ・鐘楼外壁吹き替え
 - ・内部天上取り換え
 - ・北&南側壁強化
 - ・非常口設置
 - ・エントランス耐震
 - ・正面外壁&窓枠改築



- ・四国会館螺旋階段モルタル剥離箇所
- ・四国会館3階吹き抜け踊り場防水
- ・四国会館屋上防水



教区スケジュール

5月	
1日 (水)	天皇の即位の日
2日 (木)	休日
3日 (金)	憲法記念日 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒
4日 (土)	みどりの日
5日 (日)	子どもの日
12日 (日)	復活節第4主日
13日 (月)	西日本地区司祭助祭交流会in長崎
14日 (火)	聖マチア使徒
18日 (土)	宣教司牧評議会役員会13:00
19日 (日)	復活節第5主日
20日 (月)	田中英吉司教命日
25日 (土)	子どもと中高生の集いin高知(～26)
26日 (日)	復活節第6主日 「世界広報の日」
31日 (金)	聖母の訪問
6月	
2日 (日)	主の昇天
3日 (月)	春の司祭・助祭集会in北条(～4)
9日 (日)	聖霊降臨の主日
11日 (火)	聖バルナバ使徒
16日 (日)	三位一体の主日
18日 (火)	大阪教会管区司祭助祭の集いin大阪(～20)
23日 (日)	キリストの聖体 聖ペトロ使徒座献金
24日 (月)	B・ヨハネの誕生 広島・高松合同黙想会in宝塚(～29)
28日 (金)	イエスのみ心
29日 (土)	聖ペトロと聖パウロ使徒
30日 (日)	年間第13主日

神父様と鬼ごっこも 高松の「マリアの子ども会」

こんにちは。高松市多肥下町にあるマリア幼稚園卒園生が集う「マリアの子供会」です。

毎月2回、土曜日の9時半から11時まで、皆さまのお話を聞いたり、お祈りをしたり、聖歌を歌ったり、簡単な英語を習ったり、園庭で友達と遊び回ったりしています。

いわゆる土曜学校と呼ばれる活動です。でもここは普通の土曜学校と少し違い、畑で野菜作りも

こんには。高松市多肥下町にあるマリア幼稚園卒園生が集う「マリアの子供会」です。

毎月2回、土曜日の9時半から11時まで、皆さまのお話を聞いたり、お祈りをしたり、聖歌を歌ったり、簡単な英語を習ったり、園庭で友達と遊び回ったりしています。

いわゆる土曜学校と呼ばれる活動です。でもここは普通の土曜学校と少し違い、畑で野菜作りも

新刊書籍紹介

■『ミサ・洗礼・堅信』
教皇講話集

2017年から2018年にかけて行われた教皇フランシスコによる三つの連続講話を収録。キリスト者の生の根源であり、わたしたちのいのちに完全な意味を与えるものである、秘跡と典礼についての心温まる解説。聖霊の導きを信じて歩むようにとの力強い励まし。

- 主な目次
- はじめに
ミサ はじめに 祈り キリストの過越の神秘の記念 なぜ日曜日にミサに行くのか
開祭 回心の祈り 栄光の賛歌と集会祈願
ことばの典礼 (一) 神とその民との対話
ことばの典礼 (二) 福音朗読と説教
ことばの典礼 (三) 信仰宣言と共同祈願
感謝の典礼 (一) 奉納
感謝の典礼 (二) 奉献文
感謝の典礼 (三) 主の祈りとパンの分割
感謝の典礼 (四) 拝領
閉祭
洗礼 はじめに キリスト者の信仰のしるし 悪に打ち勝つ力 いのちの始まり
新しいいのちに生きる キリストをまとう
堅信 キリスト者のしるし 霊の証印 教会の成長のために
- 著者：教皇フランシスコ 判型：A6判(文庫)並製 ページ数：160ページ 発行：カトリック中央協議会

■『潜伏キリシタン』
江戸時代の禁教政策と民衆

幕藩体制下に弾圧されたキリシタンは、明治政府によって解放された。このように思われている「日本社会の近代化」は、歴史の真実なのだろうか。そもそも「キリシタン」とは何なのか。非キリシタンであったにもかかわらず、領主の苛政に一揆を起こした民衆を「切支丹」として弾圧した事例や、問題化を避けるために、穏健なキリシタン百姓を黙認した事例などを取り上げ、歴史と宗教のかかわりに新しい視野を提供する。

- 主な目次
- 序章 キリシタンを見る視座
第一章 「伴天連門徒」から「切支丹」へ
第二章 「異宗」「異法」「切支丹」
第三章 島原天草一揆と「切支丹」の記憶
第四章 異端的宗教活動から「切支丹」への転回
第五章 信仰共同体と生活共同体
第六章 重層する属性と秩序意識
終章 宗教は解放されたか？
- 著者：大橋幸泰 判型：A6判(文庫)並製 ページ数：264ページ 発行：講談社 パウルスショップ 価格：1,134円(税込)
- ※お取り寄せ品は出荷までに1～2週間前後かかる場合がございます。
※配達日のご指定は承ることができません。
※発行元が品切れの場合はキャンセルとなりますのでご了承下さい。

い、みんなで協力し、作っていたいただきます。

現在、1年生から6年生までの29名の子どもたちが、毎回、わいわいと楽しく活動しています。

お話を聞いている時は、神妙な顔で、畑への行き帰りや、神父さんと鬼ごっこをしている時は、元気いっぱい、パワー全開の子どもたちです。ただ、幼稚園が教会から遠いので、殆どの子どもが未洗者なので、出来るだけ教会との関わりが持てるように心掛けています。

聖母被昇天修道会
高松修道院 Sr・宮竹



神さまのお話を聞き聖歌の練習もするよ

神を観想し、その実りを人々に伝えよ

聖ドミニコ宣教修道女会

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう

暁の星学園

鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園

編集後記

主のご復活を心よりお祝い申し上げます。

本年5月1日は新天皇の即位を祝う休日となり、それに伴い、「平成」から「令和」へと元号も改められ、新しい時代の幕開けとなりました。

神の子である私たちは四旬節を通して回心の道を歩み、主の復活にあやかる新しいいのちへの恵みと希望の中にあります。

過去に生きることも、新しいいのちを精一杯生きるよう招かれていることに感謝しつつ歩むよいチャンスですので、(J)